

かごしま労働者福祉だより 第761号

〔発行所〕 (一社)鹿児島県労働者福祉協議会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5-7-6F
☎099-254-3832

〔印刷〕 南日本新聞開発センター

〔編集〕 県労協、連合鹿児島、九州労金、こくみん共済coop<全労済>、生協連

〔発行人〕 下町 和三

☆労福協だより 毎月15日に更新!!

鹿児島 労福協 検索

「2024フレッシュズキャンペーン」スタート!!

総務省統計局「労働力調査(基本集計)2022年(令和4年)平均結果の要約」によると、15歳～34歳の2022年の就業者数は2021年と比較して14万人減少しており、若年層勤労者の数が減少していることがわかります。

このような環境下でも次世代を担う若年層に「ろうきん」を知っていただき、ご利用いただくため、「2024フレッシュズキャンペーン」を実施します!

キャンペーンでは、「ろうきんアプリ」からご応募いただいた方の中から抽選で100名様に「UCギフトカード5,000円分」をプレゼントいたします。

キャンペーン期間は2024年4月1日(月)から12月31日(火)まで、対象者は①30歳未満の勤労者の方または②30歳以上の2024年度新規採用者の方です。

なお、ろうきんアプリメイン口座のご登録、かつ、対象項目のうち、3項目以上を新規でご契約いただいた方を抽選の対象とさせていただきます。

対象項目は、①財形預金(一般・年金・住宅)またはエース預金(エンドレス型・確定日型・年金型)、②iDeCo(個人型確定拠出年金)、③NISA、④給与振込、

⑤カードローン、⑥普通預金(通帳不発行型)、⑦ろうきんダイレクトです。

ろうきんは、はたらく仲間がつくれた福祉金融機関! 新社会人のみなさん、新生活、わからないことや不安なことがたくさんあると思います。なかでもお金のことって聞きづらいですよね。「手続きはどうすればいいの?」「手数料はどこでも同じでしょ?」実は金融機関で大きく異なります。まずは、ろうきんへお気軽にお問い合わせください。そして“つかえるろうきん、みんなのろうきん!”を実感してください。



こくみん共済 coop 鹿児島推進本部 こくみん共済誕生40周年イベント わくわくキッズフェスタ開催



▲ 上原りささんのステージショー

▲ ピットくんと当日のMC 田上 真澄さん

2024年3月20日(水)に鹿児島市かんまちあにて、わくわくキッズフェスタを開催しました。

今回は、こくみん共済誕生40周年を記念したイベントで、子どもの健全育成の取り組みを中心に開催しました。当日は、多くの方にご来場いただき、元NHKパントのお姉さんの上原りささんによる歌唱などのステージショーや、生活協同組合コープかごしまより、手のひらで野菜の摂取量を測定できる「ベジチェック」などをお楽しみいただきました。

今後もこくみん共済 coopとして子どもの健全育成や防災・減災にむけた取り組みを展開していきます。



「人生100年時代」と「長生きのリスク」楽しみにしていた。連合鹿児島旗開きに來られた井手英策さんの講演を業務の都合で聞くことができなかった。残念…、その代わりに井手英策さん著作「幸福の増税論」を読んだ。

この著書で、「自由を愛しリベラルな社会を追い求めるため」=「自由のための条件整備のための増税」を訴えている。この本を読んで私も思う、今の日本は、何のために税金を納めているか、納めた税金がどのように使われているか納税者が納得できないことに問題があるのだと。井手さんが著書の中で言うように自由のための条件

整備のための増税で、その用途と目的が明確にされるなら増税も理解されるのかもしれない。「誰もが安心して生きていける社会を作る。」「そのための痛みを税で分かち合う。」そのことがすべての人間の基本的な自由を保障し、頼りあえる社会につながるものと思う。

来年の10月までには、必ず「解散総選挙」がある。今の政権は、政治資金についても私たちの税金の用途についても国民の信頼を得られているとは言い難い。「人生100年時代」、長生きをリスクと考えることなく安心して生きるためにも我々の税金を「福祉の理念」に活かせる政治を選択するチャンスにしなければならない。

第20回九州ろうきん「NPO助成」助成団体決定のお知らせ

九州ろうきんが社会貢献活動の一環として取り組んでいる「NPO助成」は今回で20回目を迎えました。2023年9月4日(月)から2023年10月20日(金)を受付期間として募集を行った結果、九州各地から138団体の応募がありました。

助成団体の選考につきましては、各地区審査委員会の選考を経て、52団体への助成が決定し、総額1,245万円を贈呈しました。

なお、鹿児島地区では、23団体から応募があり、審査委員会において6団体への助成が決定しました。その後、2024年2月17日(土)に「NPO助成フォーラム」を開催し、総額155万円を贈呈しました。鹿児島地区の助成団体につきましては、以下をご覧ください。

第20回九州ろうきんNPO助成団体一覧（鹿児島地区）

※応募総数(23)団体

3年間 継続助成	助成団体名	支援内容	助成金額
1 ○	特定非営利活動法人 かのやコミュニティ放送	「大隅半島の陸と海の豊かさ」についての講演会とワークショップの開催	30万円
2	特定非営利活動法人 徳之島虹の会	特定外来種「シロアゴガエル」の駆除作業にかかる費用	30万円
3	全国ギャンブル依存症家族の会 鹿児島	ギャンブル依存症セミナーおよび相談会の開催	30万円
4	かごしま骨髄バンク 推進連絡協議会	「命をつなぐコンサート」、医療講演会、医療相談会、患者、ドナー体験談の開催費用	20万円
5	喜入マナビバプロジェクト つわぶき	<ul style="list-style-type: none"> 中高生を対象に無料で利用できる自習室の定期的な開催 「学び場」となるようなイベントの開催 生見マルシェの参加と喜入地域にまつわるイベントの開催 	15万円
6	NPO法人 子ども支援ネットワークめばえ	「島の子ども達の体験活動」と「支援学級との農作物体験」の開催	30万円
合 計			155万円

「言いたい劇場」 小昔りや子



**「タオルでつなぐ支え合いの輪」
タオル一本運動を展開します。―労働協・連合―**

鹿児島県労働協ならびに地域労働協は、昨年に引き続き連合鹿児島と「継続できる・地域のためになる・参加しやすい」社会参加型の取り組みとして、「タオル一本運動」を展開していくこととしました。具体的には、各地域で開催予定のミーデーに「未使用のタオル」を持ち寄り、高齢者・介護施設等に寄付していくこととされています。多くのご参加協力をお願いします。

「ローンセンター鹿児島」ゴールデンウィーク 期間中の営業に関するお知らせ

ゴールデンウィーク期間中のローンセンターの営業につきましては、右記のとおりとさせていただきますので、ご案内いたします。

みなさまにはご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

日 付	営業状況
4月26日(金)	営 業
4月27日(土)	休 業
4月28日(日)	営 業
4月29日(月) (昭和の日)	休 業
4月30日(火)	営 業
5月1日(水)	休 業
5月2日(木)	営 業
5月3日(金) (憲法記念日)	休 業
5月4日(土) (みどりの日)	休 業
5月5日(日) (こどもの日)	休 業
5月6日(月) (振替休日)	休 業
5月7日(火)	営 業

※ローンセンター鹿児島 ☎099-239-1320

宇検村の歴史を学ぶ！

奄美地域労福協



熱心に話を聞く参加者ら

奄美地域労福協は2月10日(土)、奄美大島最高峰・湯湾岳の裾野に広がる宇検村を訪ねる「歴史探訪講座」を開催し、子ども7名を含む29名が参加しました。

当日参加者らは、宇検図書館・歴史民俗資料館で倉木崎海底遺跡やノロ(琉球王朝から任命を受けた祭祀儀礼を司る女性の神職)について学び、枝手久島の近くで発見された中国製陶磁器やノロが代々受け継いできた貴重な扇(テロギ)や白衣(シルギン)などの展示物について学芸員の方から説明を受けました。

続いて訪れたケムムの館では、宇検村がはじめた観光メニュー『見えないものを感じる観光』と題して、地域の文化を守りつつ暮らしの中に溶け込む観光の取り組みと大切さについて学びました。

午後からは、3班(①須戸集落歩き ②湯湾集落歩き ③ケムム巡り)に分かれ、ガイドの厳かにそして時にはユーモアを交えた案内で集落の歴史と文化を辿り、その後一般社団法人【巡めぐる恵めぐる】代表の新元一文さんの島唄で締めくくりました。

「春のフラワーアレンジメント教室」開催

熊毛地域労福協



自由な発想で春のイメージを

熊毛地域労働者福祉協議会は西之表市民会館で2月18日(日)、連合熊毛青年女性委員会と共催で

「春のフラワーアレンジメント教室」を開き、20名が参加しました。

講師にirodoriの大平真央さんを招き、3月3日の桃の節句を前に春の陽気にぴったりなレクチャーをしていただきました。

参加者らは、用意された花器に桜の花を中心に花材をアレンジ。大平さんからの「正解はないので、自由な発想で」とのアドバイスに、黙々と作業しながら日頃のストレスを忘れ、脳内をリフレッシュ。参加者同士で完成品を愛でながら心地よい時間を共有していました。

今後とも会員一同、仲間との交流から得られる笑顔と癒し効果で、何かと忙しい年度末年度初めを乗り切りたいと思います。

旧宮之城駅跡・ツル観光センターへの歴史探訪講座

始良伊佐地域労福協



ツル観光センターにて

始良伊佐地域労福協は2月17日(土)、4年ぶりにバスを利用した歴史探訪講座を開催し、23名が参加しました。

当日は、1987(昭和62)年に廃線となった旧宮之城駅跡に建設された宮之城鉄道記念館を訪問。現在は、観光案内所、物産館、バスターミナル、会議室などがあり多くの利用があるとのことでした。昼食は、出水市の「いわし茶屋」で阿久根産イワシを使った料理を楽しく味わい、その後、ツル観光センターで縁起の良いツル見学へ。毎年10月中旬になると、シベリアから特別天然記念物に指定されているツルの第一陣が渡来し、約1万羽を超えるツルが、3月頃まで越冬します。2階展望室や屋上展望所からはツルの優雅な舞いや、餌をついばむ姿が観察できました。

出水のツルは、主にナベヅルとマナヅルで、ここ数年は1万羽以上が確認されています。これだけの数が人里近くで越冬するのは世界中でも出水平野だけといわれており、田んぼにいる親子連れのツルや大空を舞うツルは圧巻です。帰りには、物産館いずみに立ち寄り、特産のイチゴやミカンを買い求めました。

参加者からは「次回も楽しみにしています」と言う声もあり、充実した楽しい1日となりました。

南九州の歴史文化遺産を巡る歴史探訪講座

鹿児島地域労福協



開聞岳と東シナ海(釜蓋神社)

鹿児島地域労働者福祉協議会は3月16日(土)、第17回歴史探訪講座を開催し、家族連れを含む組合員や退職者会会員21名が参加しました。

当日は、空が美しく晴れ渡り、春の暖かさを感じるとても良い天候に恵まれ、鹿児島中央駅西口を出発し「知覧特攻平和会館」→「桜見亭」→「釜蓋神社」→「枕崎かつお公社」の順に、南九州の歴史文化遺産を巡りました。

知覧特攻平和会館では、太平洋戦争末期の基地がおかれた町の状況、陸軍特別攻撃隊員の遺影・遺品・記録などの貴重な資料を閲覧した後に、語り部による説明があり、戦争の悲惨さと平和・命の尊さを学ぶことができました。その後、釜蓋神社でお参りをし、東シナ海の雄大な景色を楽しみ、枕崎かつお公社でお土産を購入し鹿児島中央駅へと帰着しました。

参加者らは、太平洋戦争当時の真情を学び、二度と戦争の悲劇が繰り返されないようにしなければと痛感した様子でした。

セルフコンパッション でうまくいく!

新年度になり、新しい部署に異動になったり、新しい人が来たりして、緊張し、疲れていませんか？ 変化はあなたの神経系を過敏にさせ、無意識のうちに酷使します。新しい環境に適応しようとして、さまざまな情報をキャッチしようとして疲れているはず。こんなときは少し時間を取って、景色のいい場所で深呼吸をしましょう。目を閉じて何度か深くゆっくりとした呼吸を繰り返して、体の力をぐっと一回入れてから「はあー」と温泉につかった

臨床心理士 山藤奈穂子

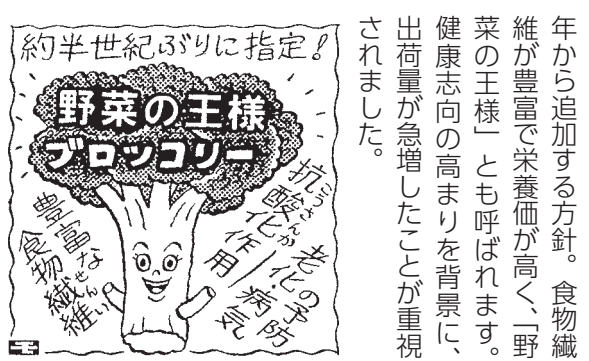
④5 新年度の自分にプレゼント

ときのような声を出しながら力を抜きます。そして目を閉じたまま考えてみます。これだけ緊張して疲れている自分に何かプレゼントしてあげるとしたら、何がいいだろう？ とても大切な親友のように自分を扱うとしたら、何をあげたいだろうか。休日にも何も予定を入れずにゆっくりする、喫茶店でぼーっとする、おいしいお茶やスイーツ、いい寝具、ぜひたくな入浴剤、映画、本や漫画の大人買い、美術館や博物館、温泉。できるだけ、物質的なものではなく、体験や時間など精神的に豊かになるものを自分にプレゼントしてください。人より優れた成果を残したときや頑張ったときにだけ自分に褒美をあげるのではありません。あなたは今のままのあなたで、大切にされるべき人です。価値のある人です。毎日朝起きて、出勤して、たくさん緊張しながらすべきことをこなしている。そんな自分の心身をいたわってあげる時間をつくりましょう。



指定野菜

消費量が多く、国民の食生活に欠かせないとして国が指定する野菜です。国が需給状況を把握して供給計画を立て、価格が下落した場合には農家に補助交付金を支給し、安定供給を図ります。キャベツ、キュウリ、サトイモ、ダイコン、玉ねぎ、トマト、ナス、ニンジン、ネギ、白菜、ピーマン、ホウレンソウ、レタスなど14品目が指定されています。農林水産省は、1974年のジャガイモの指定以来、約50年ぶりにブロッコリーを2026



読者の声

297

ろうきんカードは手数料無料なので便利で助かります。年金受取口座もろうきんにしたいと思います。

(薩摩川内市)

労福協より新春プレゼントのフードバンクかごしま非常用食品パックをいただきました。ありがたうございました。中身を確認し賞味期限を記録して、い

ざというときに使用できるよう分かりやすい場所に保管しています。

(鹿児島市)

2月号掲載の、こくみん共済coopが「児童健全育成推進財団へなわとび・長なわを26,168本寄贈」の記事は、子ども達の喜ぶ姿が想像できありがたいです。孫二人もなわとびに興味を持ち、得意そうに跳んでみせます!!

(霧島市)

クイズへの応募は初めてですが、毎号楽しみにしています。スマホで応募できるのは、楽でよいですね!

(鹿児島市)

「セルフコンパッションでうまくいく!」を読んでいると、心が落ち着く感じがします。無意識にストレスを溜め込むこともあるので、記事を参考にしながらうまくストレスと付き合っていきたいと思っています。

(霧島市)

連合鹿児島2024新春講演会で井手英策教授のお話を聞きました。とても興味深い内容で、勉強になりました。「ベーシックサービス」について日本全体が理解し、生きやすい日本になってほしいです。

(鹿児島市)

毎年色んなイベントに参加させて頂き楽しんでいきます。もっと異業種の人たちとの交流の場が欲しいです。

(鹿児島市)

